

2025年3月期 決算説明資料

杉本商事株式会社

9932

2025年4月25日

目次

- 2025年3月期決算概要
- 2026年3月期業績予想
- 企業価値向上に向けた取組み進捗状況

2025年3月期決算概要



2025年 3 月期決算概要

SUGIMOTO

- 工場設備への保全、修繕、省力効率化を目的とした投資の動きが堅調に推移した事で売上・営業利益ともに増加
- 海外経済不振の影響を受けた業種は低調に推移

(百万円)

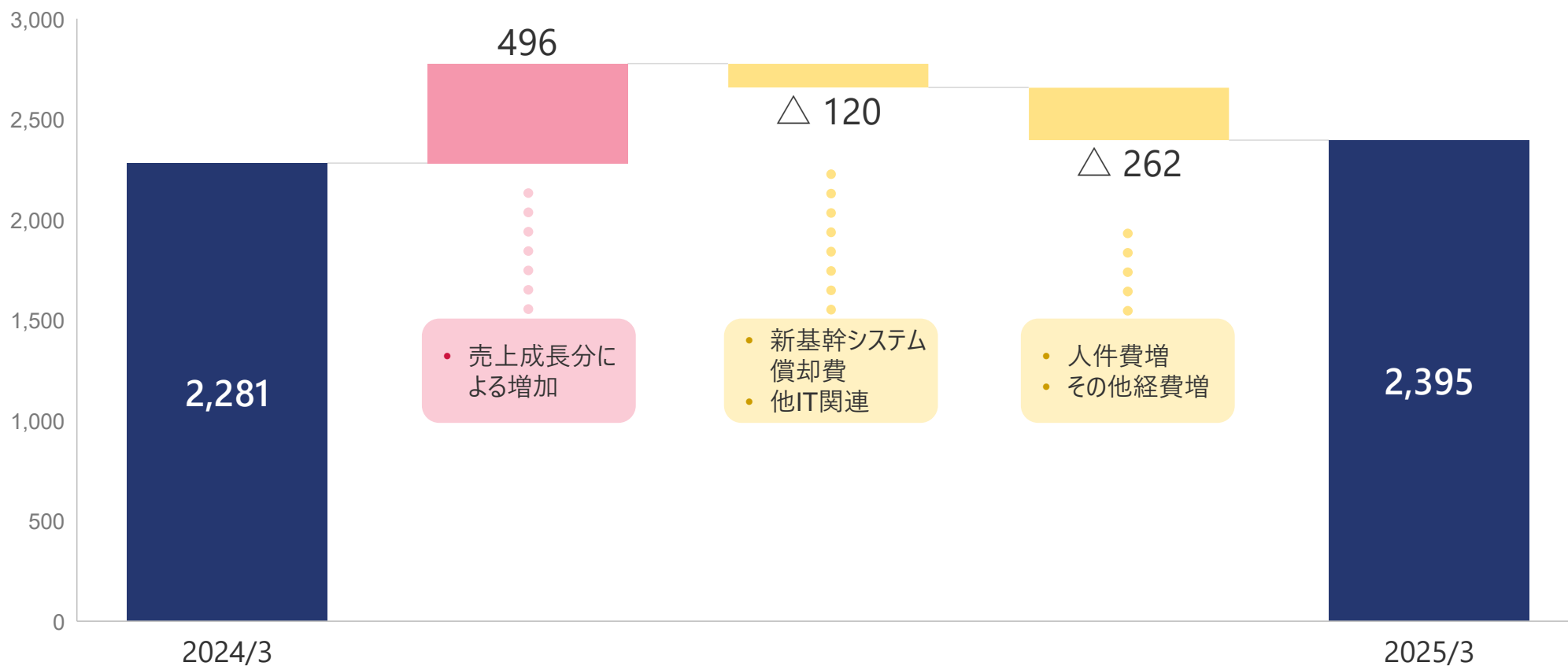
	2024/3	2025/3	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	46,636	49,465	+2,828	+6.1%
営業利益	2,281	2,395	+114	+5.0%
経常利益	2,824	2,906	+82	+2.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,876	1,917	+41	+2.2%
ROE (%)	5.4	5.4	±0	±0ppt
EPS (円)	93.11※	98.18	+5.07	+5.4%

2025年3月期営業利益増減分析

SUGIMOTO

- 【増加要因】売上成長に伴う営業利益の増加
- 【減少要因】新基幹システム導入等のIT費用増加、人件費等の経費増加

(百万円)

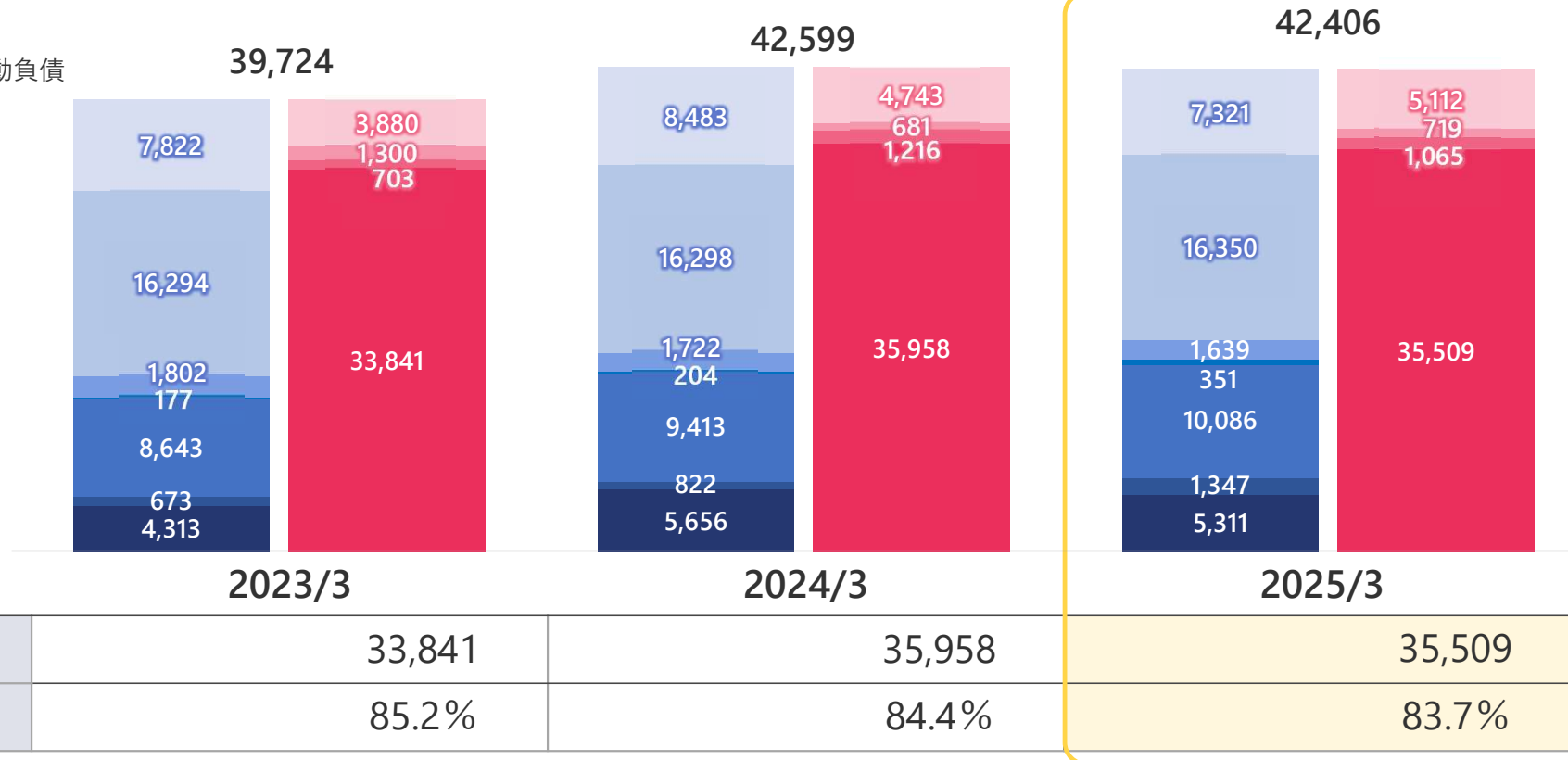


- 最適資本構成を意識し、積極的な自社株買いの実施などにより自己資本比率をコントロール

連結貸借対照表

(百万円)

- 現金・預金
- 売上債権
- 棚卸資産
- 其他流動資産
- 有形固定資産
- 無形固定資産
- 投資その他の資産
- 買入債務
- 其他流動負債
- 固定負債
- 純資産



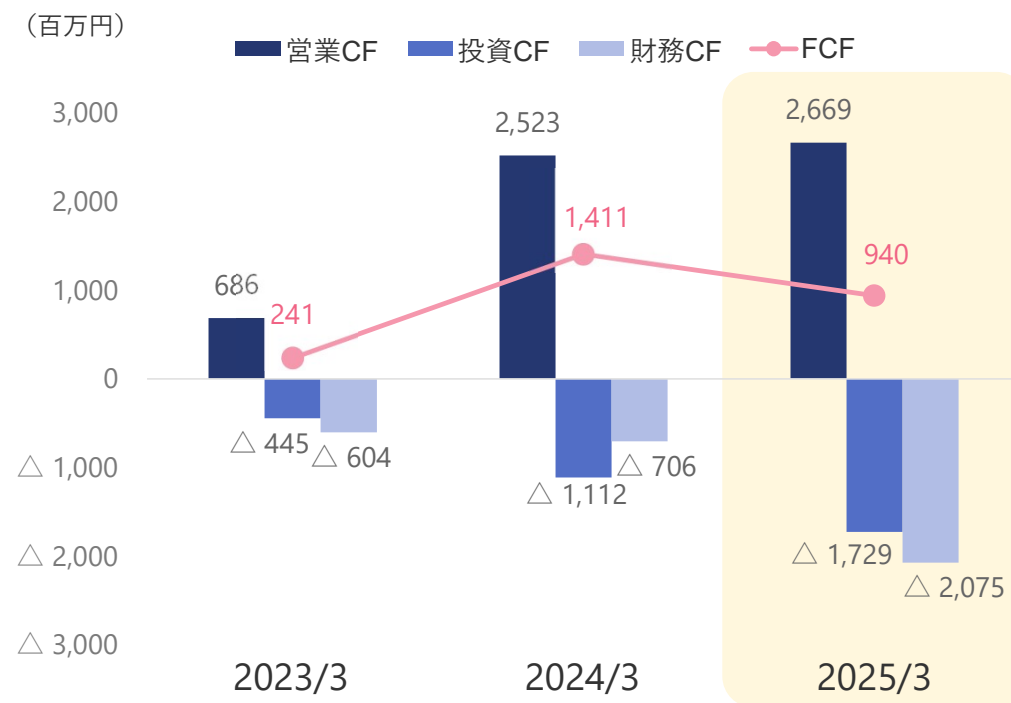
キャッシュフロー計算書

SUGIMOTO

- 売上の増加により営業キャッシュフローは2,669百万円となる
- 有形固定資産の取得により投資キャッシュフローは支出増加
- 売上の増加によりフリーキャッシュフローは増加
- 自己株式取得により財務キャッシュフローは増加

キャッシュフロー計算書

	2024/3	2025/3
営業活動による キャッシュ・フロー	2,524	2,669
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,112	△1,729
財務活動による キャッシュ・フロー	△706	△2,075
現金及び現金同等物の 増減額	7,710	△1,136
現金及び現金同等物の 期末残高	8,414	7,278



2026年3月期業績予想



2026年3月期業績予想

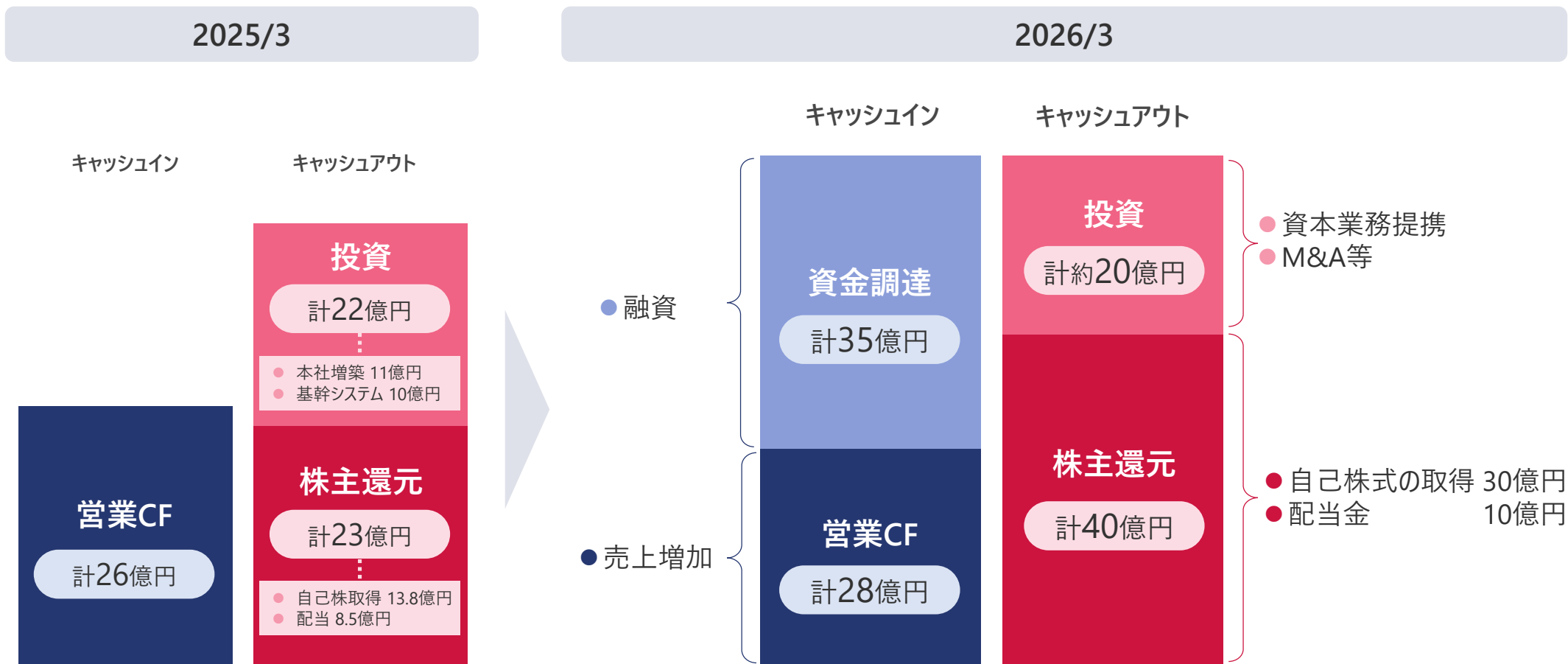
SUGIMOTO

- 売上高に関しては鉄鋼・半導体業界への注力により本年度と同様の成長を見込む
- 営業利益に関しては償却費用（新基幹システム、建物）、及び人的資本への投資の増加に伴い2025/3と同程度と見込む

（百万円）

	2025/3 (実績)	2026/3 (予想)	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	49,465	51,800	+2,335	+4.7%
営業利益	2,395	2,380	△15	△0.7%
経常利益	2,906	2,960	+54	+1.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,917	1,935	+18	+0.9%
EPS（円）	98.18	101.01	+2.83	+2.9%

- 2026年3月期は資金調達を実行し、M&Aを含む積極的な成長投資と株主還元資金を配分する計画



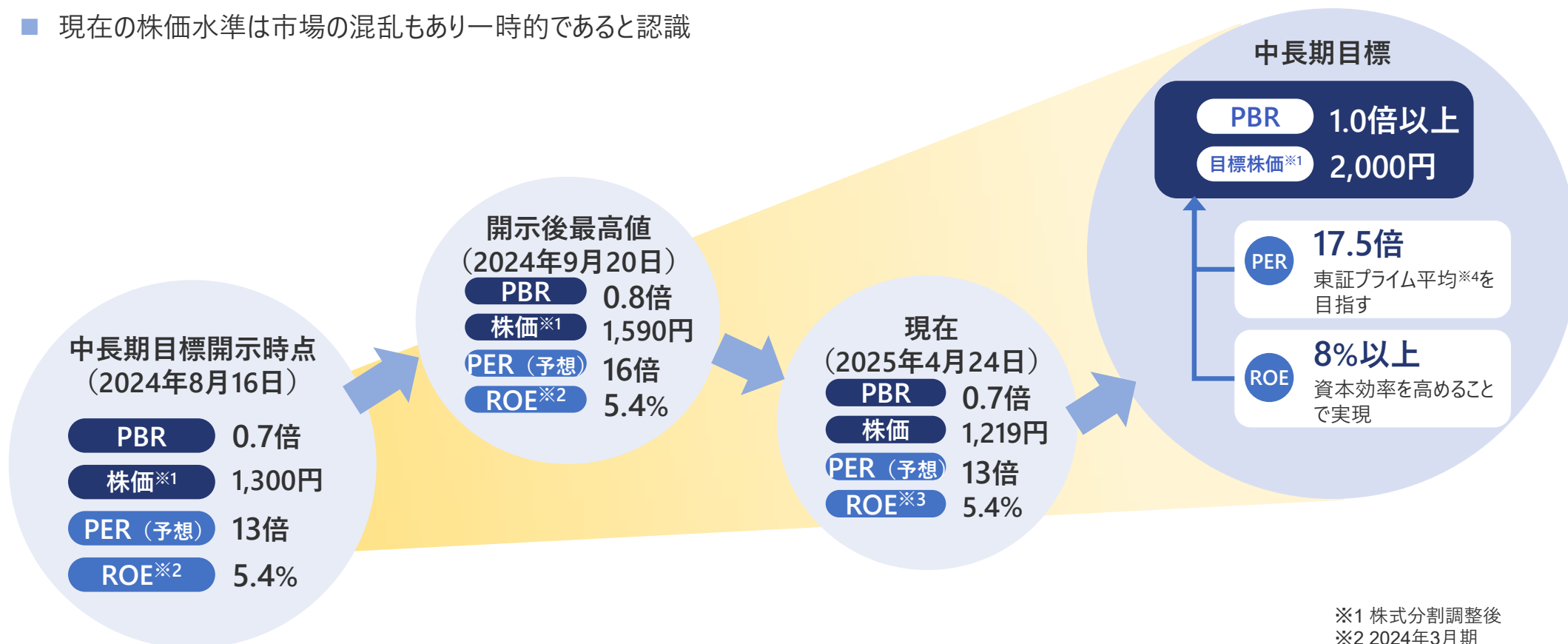
企業価値向上に向けた取組み進捗状況



中長期で当社が目指す指標

SUGIMOTO

- 2024年8月に開示した「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」で示した中長期目標に向け、施策を着実に実行
- 同開示後、当社株価は一時 PBR 0.8倍を超えて推移
- 現在の株価水準は市場の混乱もあり一時的であると認識

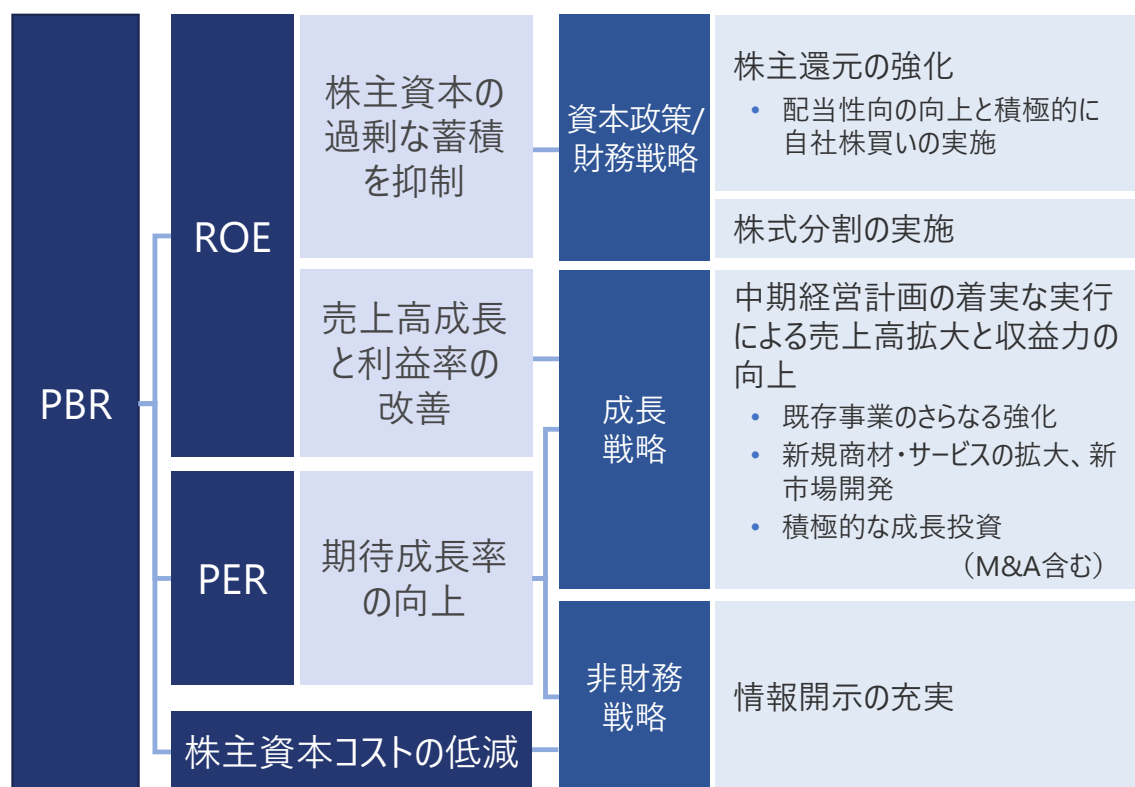


※1 株式分割調整後
※2 2024年3月期
※3 2025年3月期
※4 2024年3月末時点

各施策のKPIの進捗状況（2025年4月現在）

SUGIMOTO

- 2025年3月期は資本政策の取組みが着実に進展
- 2026年3月期は中長期の配当性向目標を前倒して達成する計画
- 次期中期経営計画は第4次中期経営計画の実績を基準に判断



実績	計画	KPI
2025/3	2026/3	第4次中計 2027/3
- 配当性向 44.6% - 自社株買いの実施（総額13億円）	- 配当性向 53.5% - 自社株買いは引き続き実施（総額30億円）	配当性向 50%以上を維持※
1 : 2	—	—
売上高 49,465百万円 営業利益 2,395百万円	売上高 51,800百万円 営業利益 2,380百万円	【最終年度】 売上高 55,830百万円 営業利益 2,860百万円
決算説明資料の開示	決算説明資料開示の継続	情報開示の充実

※1株当たり配当金は35円を下限（株式分割調整後）とする

- 第4次中期経営計画『Start of the next 100 years～ 変化へチャレンジ』では、5つの方針のもと、大きく変化する環境に耐えられる筋肉質な体質を目指す

当社グループのビジネスモデルと強み



第4次中期経営計画の取組

① 新事業の開発

- 新たな商材販売の強力な推進
 - ・ DX商材販売の開始
 - ・ 他業種との事業連携

商材
ラインナップ
強化

ネットワーク
拡大

② 新市場への拡大

- 既存ネットワークからの横展開
 - ・ 現在のグループ営業拠点数64か所のサプライヤーチェーンとの関係性を生かし、更に新たな地域への展開を進める
- M&A戦略・M&Aを通して業種・地域でホワイトスペースとなっている部分を補完していく

基盤強化

③ ESG推進

- 社会貢献の一環として利益の一部を支出し、商社ならではの気候変動対策の実現

④ IT資源への投資

- インフラを含めた最新技術への投資とそれを活用した業務への切り替え

⑤ 社員満足度の向上

- 働く環境の整備により、社員が安心して生活を送ることにより生産性向上を図る
- ワークライフバランスの充実
 - ・ 有給休暇取得及び時間外労働削減の促進

第4次中期経営計画の取組み

SUGIMOTO

- 新規事業開発に関しては2025年3月期より推進を開始し、今後拡大予定
- M&A等の投資に関しては2025年3月期は積極的な検討を行うが実施には至らず、2026年3月期より具体的な取組を開始

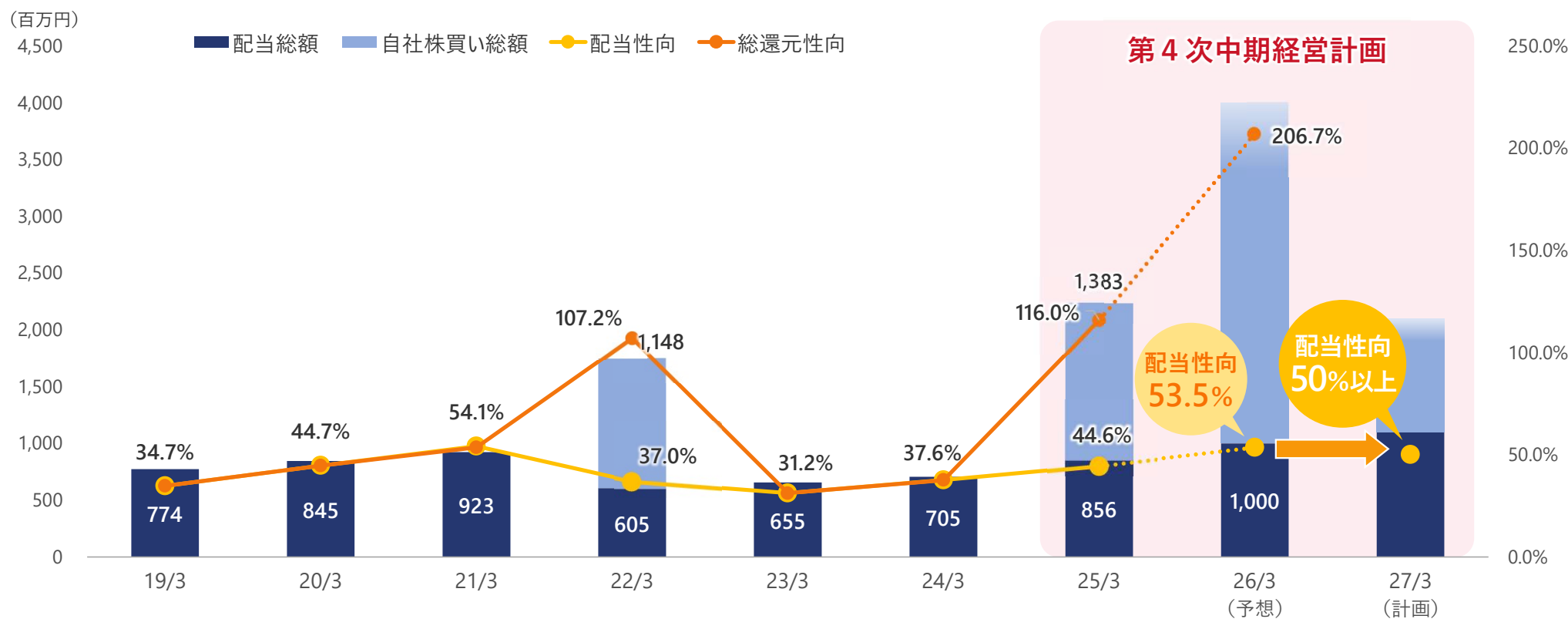
個別方針	2025/3の取組	2026/3の取組
① 新事業の開発	DX商材販売を推進を開始	- DX商材販売の事業拡大 - 資本業務提携ITコンサル業務開始
② 新市場への拡大	M&A先の積極的な検討を行うが今期時点では投資先は無し	M&A等によるネットワーク拡大と弱みの補完
③ ESG推進	- 健康経営優良法人の認定を取得 - 地方公共団体への寄付	- くるみん認定取得への取組 - 地方公共団体への寄付
④ IT資源への投資	- 新基幹システムのリリース - 社内サーバーのクラウド化	新しい技術（AI等）を取り入れた効率化の推進
⑤ 社員満足度の向上	- 有給取得日の向上（14日⇒15日） - 残業時間の削減	- 職場環境の改善 - エンゲージメントの向上

方針

- 第4次中期経営計画期間中は配当性向50%以上を維持、加えて積極的に自社株買いを実施する
- 次期中期経営計画期間中は、第4次中期経営計画の実績を基準に判断する

26/3取組み

- 2026年3月までに総額30億円の自社株買いを実施
- 2026年3月期配当は総額10億円を予定（1株当たり54※円）



この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測しております。

実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

The logo for SUGIMOTO, featuring the word "SUGIMOTO" in a bold, dark blue, serif typeface. The text is centered within a white rectangular area that is framed by a thin blue border.